

2021.05

TOKUSHIMA PREFECTURAL INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会



TOPIAの
1年



昨年度は当協会の活動に対しまして御理解、御協力いただき誠にありがとうございました。皆様方からのご支援により、コロナ禍ではありましたが、感染防止に配慮しながら、外国人による日本語弁論大会をはじめ、日本語支援ボランティア養成講座や日本語教室の開催、そしてWeb会議システムを利用しての大規模災害時外国人支援対応訓練等を開催することができました。

今年度も引き続き、在住外国人の方々に安心していただけるよう、努めてまいりますので、皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人徳島県国際交流協会 令和3年度事業計画

★とくしま多文化共生推進事業

外国人支援のための各種ボランティアの募集・養成を行い、ボランティア活動を支援することにより、県民の皆様の国際理解と官民協働の国際交流・協力活動を深め、本県の多文化共生を推進します。

★外国人による日本語弁論大会

時期：令和3年7月18日（日）（予定）
スピーチの部：13：30～16：30

場所：あわぎんホール 5階小ホール

- 県内在住外国人から参加者を募り、日本語での弁論とともに会場参加者との意見交換や交流を行い、異文化理解、多文化共生の促進を図ります。（コロナ禍のため関係者のみでの開催予定）

★ONE WORLD こども支援事業

世界の未来を担う子どもたちに、様々な国の人達との交流体験を通して、国際社会の一員としての自覚を促し、異文化交流や国際理解及び国際協力への意識の醸成を図るための支援事業を行います。

★地域外国人日本語支援事業

県内各地で日本語教室を開催し、在住外国人のために日本語支援を実施することにより、外国人を社会の一員として受入れ、平時・有事を問わず、安全・快適に暮らすことのできる多文化共生のまちづくりを推進します。

★地域外国人相談支援事業

外国人材受入拡大に伴い、言葉や生活習慣の違いなどからトラブルが生じる恐れがあります。また、地震や豪雨等の自然災害における、外国人の支援体制の脆弱性が全国的に指摘されていることから、地域の外国人からの相談に対する各種支援を行います。

★とくしま国際戦略センター運営事業

（公財）徳島県国際交流協会（TOPIA）を核として、県民、行政、関係機関の力を結集し、海外交流や地域貢献など多様なニーズに対応する「ワンストップ情報受発信拠点」を運営し、県内在住外国人の生活利便性の向上に寄与し、「地域の国際化」を支援します。

※新型コロナウイルスの感染状況により、各種事業に変更が生じる場合があります。



専門ボランティアスキルアップ



外国人総合相談窓口



日本語弁論大会



おしらせ

TOPIAが日本語のICT教材を作成しました！

阿波弁の勉強をしたり、
落語や昔話を見たり聞い
たりすることができます。
日本語学習者の方たちに
是非、ご紹介ください！



URL : www.topia.ne.jp/docs/2015080700014/

文化庁 令和2年度
「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用

★阿波おどり交流事業

時期：未定

- 留学生や英語指導助手並びに在住外国人と県民による「あらそわ連」を組織し、伝統的な郷土文化である阿波おどりを共に楽しみ、相互理解を深め、国際親善及び協力を図ります。

★ホームステイ・ホームビジット受入事業

時期：未定

場所：徳島県内

- 徳島県在住の留学生を対象に1泊2日のホームステイ、日帰りのホームビジットを実施し、地域での国際交流と相互理解の促進を図ります。受け入れに興味のある方はお問い合わせください。

★外国青年招致事業

★情報誌「AWA LIFE」及び「阿波生活」の発行

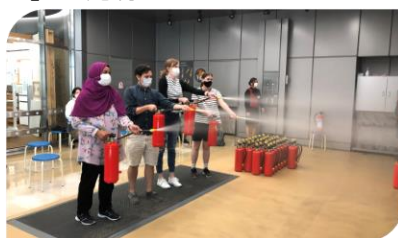
★機関誌「とくしま国際戦略センター・TOPIA」の発行

★外国人観光客案内事業

★旅券発給補助事業



大規模災害時外国人支援対応訓練



防災センタースタディツアー



国際理解支援講師派遣



国際理解支援フォーラム



日本語教室



TOPIA ニューフェイス

この3月に地域外国人コーディネーター 滝さん、英語多言語相談員 鈴江さん、長期社会体験研修生 三好さんがTOPIAでの任期を終えられました。在任中は徳島県の多文化共生推進などに努めていただきました。これからの益々のご活躍を期待しております！新しく着任いたしました後任者の方たちのご紹介をいたします。

新地域外国人コーディネーター

小林 功

皆さんこんにちは。小林功と申します。4月1日から、「地域外国人コーディネーター」としてトピアで勤務することになりました。トピアでの私の主な業務は、外国人の方々からの相談への対応や、県内の市町村や国際交流協会等と連携して在住外国人の皆さんの支援をすることなどです。

地方においても国際化が急速に進んでいく中、徳島県に住む多くの外国人の方々が、安心して暮らしていけるよう、多文化共生の社会を目標として、業務に取り組んでいきたいと考えていますので、皆さんのご協力をお願いします。



新英語多言語窓口相談員

小林 真子

この度、4月1日からTOPIAの多言語窓口相談員の英語担当になりました小林 真子と申します。多言語相談員の業務内容は、徳島を訪れる外国人観光客への観光案内や在住外国人からの生活相談を主に行う予定です。私は、徳島県阿南市の出身ですが、5歳以降は広島県、兵庫県、大阪府で生活をしていました。徳島県以外にも日本が誇る素敵な都道府県があります。コロナウイルス感染拡大で他県に旅行することも難しいですが、気軽に旅行も楽しめる日々が戻ってほしいと願います。その際はぜひ中国地方や関西圏へ立ち寄ってみて下さい。

また私の所属するTOPIAでは、日本語教室や日本語弁論大会などのイベントもあります。日本語教室は、レベルに合わせた授業で、日本の季節の行事や徳島の生活についても勉強できます。日本語を勉強したい方はぜひ利用して下さい。

久しぶりの徳島で私自身も改めて徳島の素晴らしさを発見し、TOPIAに来られる方々とその素晴らしさを共有できることを心待ちにしております。

新長期社会体験研修生

吉本 絹代

はじめまして。吉本絹代です。今春、長期社会体験研修生として、こちらに勤務することになりました。2019年12月以降、新型コロナウイルスが短期間で全世界に広がりました。コロナは、私たちの固定観念をすっかり変えてしまいました。そんなこと絶対無理と思っていたことが、実はできるということにたくさん気付かされました。

ますます加速化するグローバル化。わたしたち一人ひとりが、国際理解を深め、多様性を受け入れることで、世界が一つになることも、絶対無理ではありません。

これから1年の新しい経験が、自分自身のステップアップに繋がるよう、そしてまた、教育現場に還元できるよう努めたいと思います。

そのためにも、健康いちばんで頑張ります。取りあえず、自宅から6kmの道のりを、徒歩で通勤することを決意しました。1年後には、少しスリムになるでしょうか？どうぞよろしくお願いいたします。



4月15日・16日に徳島県24市町村に聖火リレーがやってきました。50名の聖火ランナーの一人に当協会の日本語支援ボランティアとして活躍している村上さんが選ばれ、思いを胸に200メートルを走り切りました。貴重な体験の感想を書いていただきました。

Hope Lights Our Way

小松島市国際交流協会
副会長 村上 久美子

「“Hope Lights Our Way” 希望の道を、つなごう。支えあい、認めあい、高めあう心でつなぐ聖火の光が、新しい時代の日の出となり、人々に希望の道を照らしだす。」
これが東京2020オリンピック聖火リレーのコンセプトです。

2019年7月～8月に聖火ランナーの募集が行われていた時に、「国際交流をしていて、フルマラソンにも出ているから!」と、応募を強く勧めてくれたのは友人たちでした。聖火ランナーの応募要項を確認してみると、オリンピック聖火ランナー選定の基本的な考え方の中に「共生社会の実現を目指して活動している人」とありました。

小松島市国際交流協会のチャーターメンバーとして国際交流を始めて30年余。最近の活動としては、外国にルーツのある子どもたちの日本語学習や学習支援をしています。彼らは、時として自分の将来が見えず、希望を持ってないことがあります。でも、「自分を信じて、希望を持ってほしい。希望は叶う!」ということを聖火ランナーになって伝えたいと応募動機に書きました。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会から聖火ランナー選出のお知らせが2019年12月25日にあり、小松島市のランナーとして走れることになりました! 最高のクリスマスプレゼントでした。学習支援している子どもたちとテレビにも出演させていただきました。

しかし、新型コロナウイルスの感染の影響から、東京オリンピック・パラリンピックの1年の延期が決定され、とても残念でしたが、

「いつか走れる!」と信じ、毎日ランニングを続けてきました。

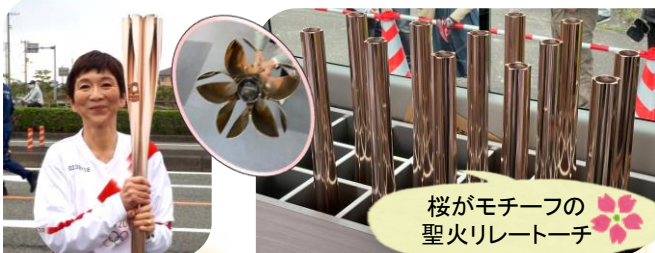
2021年4月16日、待ちに待った聖火リレーを走れる日が来ました。阿南・小松島間で200mを走りました。雨が降りそうな天候でしたが、前日に子どもたちがてるてる坊主を作ってくれました。絶対、雨は降らない!

聖火リレーを楽しもう! この日のために用意したシューズの靴紐の色は虹色です。

当日は、くもりでしたが、雨は降らず走ることができました。聖火ランは、緊張もしましたが、スタッフの方々の誘導のおかげで、とても楽しく走ることができました。沿道には新型コロナウイルス感染症に配慮をしながら、たくさんの方が見に来てくださっていました。また、インターネットのライブストリーミングで、日本全国の皆さんにも見ていただけました。たくさんの方の拍手の中、あっという間の2分間でしたが、幸せな気分で200mを走ることができました。今までにフルマラソンを20回程走りましたが、この200mに勝る楽しいランはありません。

聖火ランの後、持ち帰った聖火トーチを、その当日の学習支援で子どもたちと外国人ママたちに早速手に取ってもらいました。満面の笑顔でした! また、お会いする方たちにトーチを持っていただくと、どなたも笑顔になるのが、とてもうれしいです。

「希望の光が世界をつなぐ」。一生に一度の大変貴重な楽しい体験をさせていただきました。応援して下さいた皆さんに感謝いたします。そして、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されることを心から祈っています。



桜がモチーフの
聖火リレートーチ



～県内国際交流団体活動紹介～

あったかいよう日本語教室



NPO法人あったかいよう
 副理事 ラフオンテーヌ 裕子

海陽町は県南の高知県との県境にあり、あまり知られていませんが外国人居住者の割合が多い町です。

私は14年前、地元海陽町にUターンしました。関東での国際交流の場を体験し、海外に住んだ時の移住者へのサポートに助けられた経験から、海陽町でもぜひ国際交流のお手伝いがしたいと思っていました。海陽町には国際交流協会がなかったので、何か出来ないかと思い、まちづくりに力を入れているNPO法人あったかいように参加しました。その後、美波町の日本語教室に参加させていただいたり、外国人を先生としてみんなでおしゃべりする語学カフェを開催したり、移住者との交流をはかるMeetupパーティーに関わらせてもらうなどいろんなことをやらせていただきました。

昨年7月から8月末の期間、徳島県国際交流協会から委託を受け、地域日本語支援ボランティア養成講座を実施しました。初日の荒天の中お越しいただいたトピアの皆様、また、暑い中足をお運びいただいた講師の皆様、本当にありがとうございました。日本語教育に携わったことがない私たちにとって本当に役に立つ学びでした。

そして昨年10月、コロナ禍ではありましたが、念願のあったかいよう日本語教室を実現することができました。最初は自分では力不足だという想いや本当にやっていけるかどうか不安がありましたが、この5ヶ月間やり終えてみて、一人じゃないと思えるようになりました。

日本語教室が始まってからは、地域日本語教育コーディネーターであり美波多文化共生ネットワーク「ハーモニー」の日本語講師である遊亀美枝先生にフルサポートしていただき、事務手続きの面ではあったかいよう事務スタッフのフルサポートをうけました。このサポートなしでは日本語教室は実現しませんでした。

現在、養成講座受講修了者の方たちがサポーターとして活躍してくださっており、感謝してもしきれません。今後どのような日本語教室にしたいかをみんなで話し合うことができ、これからの展開が本当に楽しみです。

私たちが日本語の学びとともに大切にしたいと思っているのが交流事業です。昨年度はあったかいようで開催している交流イベントに日本語教室受講者が参加することでいくつかの文化体験を実現することができました。あったかいようメンバーの力をこれからもお借りしていきたいと思います。

現在、3カ所のベトナム人技能実習生12名と在住フランス人1名が教室に定期的に通ってくれています。実習生を毎週連れてきてくださる事業主様のおかげで活気ある楽しい教室になっています。今後、海陽町に住む外国人の方にもっと声をかけて、たくさんの方に参加いただける国際交流の場、そして、心のより所にしていきたいと思います。



写経体験の様子



着物で新年会



JICA徳島デスクのページ

JICA（独立行政法人 国際協力機構）は、日本のODA（政府開発援助）の実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。「信頼で世界をつなぐ(Leading the world with trust)」というビジョンを掲げ、多様な援助手法を組み合わせ、最適な解決策を提供することで、開発途上国が抱える課題解決を支援していきます。

JICA海外協力隊 2021年春募集開始

新しい徳島県国際協力推進が着任！

JICA海外協力隊

世界もあなたも、可能性に満ちている。



JICA海外協力隊の募集が始まります。オンラインにて説明会を実施いたしますので、ご関心のある方は、ぜひ参加してください。

お問い合わせ先はこちらまで
○ JICA海外協力隊募集事務局
TEL：042(404)5021
E-MAIL：contact@jocv.info
○ JICA四国
TEL：087(821)8825
E-MAIL：jicaskic@jica.go.jp

2021年2月より徳島県の国際協力推進員に着任しました森陽子と申します。JICA徳島デスクは地域のJICA窓口として、徳島県と途上国を繋げていく活動をしています。国際協力や国際交流、JICAボランティア等にご興味がおありの方は、ぜひ徳島県JICAデスクまでお声掛けください。いつでも間口を広げる思考を持って、お待ちしております！！

協力隊員として、ガーナに派遣されていました！！



■JICAの支援メニュー紹介：JICAでは、日本の地域で発展してきた技術や経験を開発途上国の発展にも活用し、国際協力を通じて地域の活性化や国際化にも貢献していきます。

◆JICA海外協力隊事業

開発途上国からの要請（ニーズ）に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考・訓練を経て派遣します。帰国後もグローバル人材としての活躍が期待されています。

○2021年春募集：2021年5月20日（木）から6月30日（水）正午まで
詳細につきましては、JICA海外協力隊ホームページをご覧ください。

<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

◆草の根技術協力事業

技術協力を通じて途上国の方々の生活改善を支援しています。

【事業提案の応募は、以下の3コース】

- 草の根協力支援型（3年以内、1,000万円以内）
- 草の根パートナー型（5年以内、1億円以内）
- 地域活性化型（3年以内、6,000万円以内）

◆開発教育支援事業

地域や学校の皆さんと世界を学びます。

- ・教員向けJICA地球ひろば「先生のお役立ちサイト」学習指導案・写真・映像・パンフレットデータ・教材
 - ・教師海外研修
 - ・教員のJICA海外協力隊への現職参加
 - ・協力隊経験者による出前講座
- ※詳細は、JICA四国HPをご覧ください。

◆研修員受入事業

開発途上国からの研修員が四国の知識・経験を学んでいます。大学・地方自治体・民間団体などの協力を得て、四国の特性を活かした四国ならではの研修を実施しています。

◆中小企業・SDGsビジネス支援事業

四国の技術、世界へ！四国の民間企業と途上国を繋ぎます。

- 基礎調査（850万円上限）
- 案件化調査（3,000万円、機材輸送が必要な場合は5,000万円上限）
- 普及・実証・ビジネス化事業（1億円、大規模／高度な製品等を実証する場合は1.5億円を上限）
- 「JICA海外協力隊（民間連携）」を通じたグローバル人材の育成

JICA徳島デスクでは、いつでも皆さまからのお問い合わせをお待ちしております。

デスク：徳島県国際交流協会（TOPIA）内、徳島県国際協力推進員：森
TEL：088-656-3303 Email：jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp
JICA四国HP：<https://www.jica.go.jp/shikoku/index.html>

※（注）派遣国の政治・治安情勢や感染症を含む自然災害の状況により、事業実施を見合わせる場合があります。

「とくしま外国人支援ボランティア会員」

＊募 集 中＊

徳島には約80か国、約6,600人の外国人の方が住んでおり、2019年4月からの「外国人材の受け入れ拡大」などにより、今後ますますその数は増えていくことが予想されます。彼らが、この徳島で国籍などに関係なく生き生きと生活することができるよう、ボランティアになって支援していただきながら一緒に国際理解や多文化共生を推進していきませんか？

詳しくはとくしま国際戦略センターホームページの「ボランティア募集」をご覧ください。

URL <https://volunteer.topia.ne.jp/recruit/page01.html>

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報を優先して受けることができ、賛助団体は会議室の予約を3カ月前から申し込むことができます。詳細は当協会まで。資料をお送り致します。

年会費 個人会員 一口 3,000円/年度
 団体会員 一口 10,000円/年度

国際理解教育を応援します

国際理解支援講師派遣

人とふれあい 人とつながり

多文化理解&多文化共生！

徳島県の国際化の進展に伴い、多文化共生に向けた県民の意識醸成や国際理解教育の推進を目的として当協会では学校や市町村の機関が行う国際交流活動などに講師（県内在住外国人等）を派遣します。リモート講義についても御相談ください。

国際理解支援講師募集中

～母国と日本の交流の架け橋となりませんか～

県内の学校や市町村の機関が行う国際交流のイベント等で、国際理解支援講師として日本語で母国の文化紹介などをしてくださる県内在住外国人の方を募集しています。

徳島県外国人総合相談窓口



徳島県で生活する外国人のみなさんが、暮らしやすい地域社会を目指し、外国人総合相談窓口を開設しています。当協会では英語、中国語、そしてベトナム語のほか、たくさんの言語で対応ができますので、仕事、医療、子育てなど生活でお困りのことがございましたら、当協会に来所いただくか、お電話いただければ対応させていただきます。

開 所 時 間：10：00～18：00（年末年始を除く）

場 所：とくしま国際戦略センター

（公益財団法人徳島県国際交流協会）

多言語対応：

（1）多言語（英語・中国語・ベトナム語）相談員の配置

（2）電話通訳システムの導入

（通訳事業者、行政機関も交えて4者間で相談できる）

【対応言語】18言語

- ①英語 ②中国語 ③韓国語 ④ベトナム語
- ⑤インドネシア語 ⑥タイ語 ⑦マレー語
- ⑧タガログ語 ⑨ネパール語 ⑩ミャンマー語
- ⑪クメール語 ⑫モンゴル語 ⑬ポルトガル語
- ⑭スペイン語 ⑮フランス語 ⑯ドイツ語
- ⑰イタリア語 ⑱ロシア語

（3）映像通訳システムの導入

（相談者・相談員と通訳者との対面相談に対応）

【対応言語】8言語

- ①英語 ②中国語 ③韓国語 ④ベトナム語
- ⑤タイ語 ⑥ポルトガル語 ⑦スペイン語
- ⑧ロシア語

（4）対面式通訳機（ポケットーク）の導入（74か国語）

（5）多言語翻訳アプリ（ボイストラ）の導入

相談専用TEL：088-656-3312、088-656-3313

相 談 料：無料

（ただし、電話代は自己負担となります）

問い合わせ：公益財団法人徳島県国際交流協会
〒770-0831

徳島市寺島本町西1-61

クレメントプラザ6F

開所時間：月曜日～日曜日 10：00～18：00

TEL: 088-656-3303 FAX: 088-652-0616

URL: <http://www.topia.ne.jp>